















市民一人あたりの予算

平成 28 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口(37,858 人)

市民 1 人当たりの市税負担額 総額 76,488 円		市民一人あたりの予算額 総額 578,859 円 (主なものは下記のとおりです。)				
市民税 27,616 円	固定資産税 39,569 円	議会費 5,019 円	総務費 52,489 円	民生費 202,419 円	衛生費 33,353 円	農林水産業費 67,875 円
		議会の運営に要する経費。 	職員管理、庁舎や財産の管理、選挙、戸籍および市税の賦課徴収等の行政運営全般に要する経費。 	子どもや高齢者、障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費。 	保健衛生や環境等の健康で衛生的な生活環境を送るために要する経費。 	農業や畜産業、林業等の振興のための事業に要する経費。 
軽自動車税 4,293 円	たばこ税 5,010 円	商工費 19,027 円	土木費 56,668 円	消防費 21,276 円	教育費 39,200 円	公債費 79,919 円
		商工業の振興や観光振興、企業誘致を推進するために要する経費。 	道路や橋、河川、公園等環境を整備するために要する経費。 	火災や風水害等の災害から市民の生命と財産を守るために要する経費。 	学校や教育施設の整備、教育や生涯学習、文化、スポーツ等の振興のために要する経費。 	市の借入金の返済に要する経費。 

平成 28 年 3 月 1 日現在の住民基本台帳人口(37,858 人)で、市民一人当たりで換算してみますと、歳入のうち「市税」は、市民一人当たり 76,488 円の負担となりました。歳出を目的別にみても、市民一人当たりに使われるお金は、総額で 578,859 円となりました。最も多いのが、子どもや高齢者、障がい者など福祉のための予算(民生費)であり、これまでに道路や建物等の施設整備のため借りたお金の返済のための予算(公債費)や農業振興のための予算(農林水産業費)、土木費、総務費などの構成比が大きくなっています。また、平成 27 年度と比較すると民生費や公債費が増となり、総務費や農林水産業費が減となっています。

皆さんから納めていただく市税と事業などに使われるお金では、一人当たり 502,371 円の差(支出 578,859 円-収入 76,488 円)となっていますが、この不足額の大部分が「地方交付税」や国・県からの支出金、市債などでまかなわれることとなります。

曾於市を一般家庭にたとえてみると

国をはじめ地方自治体の財政状況が厳しいといわれる中、曾於市の財政はどんな状況でしょうか？

平成 28 年度一般会計予算の収入と支出の状況について、曾於市の一世帯あたりの平均所得である年額 202 万 1 千円(平成 25 年市町村民所得推計より)の家計に置き換えてみました。収入は、月収とパート等の副収入を合わせて 36 万 6 千円ですが、食費や光熱費、家族の医療費、子どもへの仕送り、町内会費、ローンの返済や古くなった家の改築費などの費用のため、支出額は 202 万 1 千円となっています。

そのため、収入のほとんどを親からの仕送り(国や県等からの補助金)や借金に頼っています。(依存財源は 150 万 1 千円、74.2%) また、不足分を銀行からの借金(市債)や預金(基金)の引き出しにより、やり繰りをしています。

収入				支出			
項目	金額	構成比	項目	金額	構成比		
給料(市税)	26 万 7 千円	13.2%	食費(人件費)	28 万円	13.9%		
パート収入やアパートの家賃収入等(使用料手数料、雑収入等)	9 万 9 千円	4.9%	光熱水費、日用雑貨(物件費)	27 万 4 千円	13.6%		
預金の取り崩し(繰入金)	14 万 9 千円	7.4%	医療費(扶助費)	37 万 5 千円	18.6%		
前年度からの繰越金(繰越金)	5 千円	0.2%	ローンの返済(公債費)	27 万 9 千円	13.8%		
親からの援助(地方交付税、国県支出金等)	129 万 4 千円	64.0%	子どもへ仕送り(繰出金)	24 万 2 千円	12.0%		
借金(市債)	20 万 7 千円	10.2%	家の新築増改築費、自動車等の購入(投資的経費)	28 万 8 千円	14.2%		
合計	202 万 1 千円	100.0%	自治会費、サークル費(補助費等)	22 万 3 千円	11.0%		
			定期預金(積立金)	2 万 9 千円	1.4%		
			家などの修理(維持補修費)	2 万 8 千円	1.4%		
			予備費	3 千円	0.1%		
			合計	202 万 1 千円	100.0%		

※ () は、予算上の区分を表しています。

曾於市総合振興計画

5つの主要施策 主な事業

(単位:千円)

市民主役の協働のまちづくり					
時代の変化に対応したスピード感のある行政運営		市民にとってわかりやすい情報の提供		攻めの政策による市の魅力発掘	
自治会振興に対する助成	63,950	市営放送の管理費	43,055	危険廃屋解体撤去補助事業	30,000
自治会統合に対する助成	620	ホームページ管理費	1,880	住宅リフォーム促進補助事業	18,000
自治公民館建設に対する助成	2,500	コミュニティFM放送局運営負担金	30,663	定住住宅取得促進事業	19,000
地域交通安全対策事業	2,783			市有地活用定住促進補助事業	4,000
				空き家バンク登録住宅改修補助事業	5,000
				店舗新築・改築補助金	5,000
				思いやりバス等の運行事業	78,328
				市民提案型地域づくり事業補助金	2,650
				山中貞則顕彰記念事業	17,105
				地域おこし協力隊事業	26,029



市民のこころ安らぐまちづくり					
市民の健康づくり支援・病気の予防による市民の健康増進		ごみのない清潔な生活環境の維持			
母子歯科保健事業	34,650	曾於郡医師会夜間急病センター負担金	12,000	ごみ減量対策費	170,742
(妊婦、乳幼児健康診査・親子教室・不妊治療助成等)		曾於地域救急医療協議会負担金	5,149	クリーンセンター管理費	142,368
予防事業(結核検診・予防接種等)	100,960	都城地区救急医療センター負担金	48,882	クリーンセンター施設整備事業	13,918
健康増進事業(集団検診・がん検診等)	80,657			合併浄化槽設置整備事業(個人型)	58,312
健康医療電話相談24時間事業	2,590			合併浄化槽設置整備事業(市町村型)	47,308
在宅当番・救急医療情報提供実施事業	1,603			公共下水道整備事業	67,763
困った人に手を差し伸べる福祉行政					
長寿クラブの活動助成	5,269	地域子ども・子育て支援拠点事業	6,061	重度心身障害者医療費の助成	115,496
寝たきり介護手当の助成	13,920	ひとり親家庭医療費助成事業	21,669	障害福祉サービス費	972,405
敬老祝金等の支給	32,774	放課後児童クラブ運営の助成	83,880	国民健康保険会計への市単独助成	250,000
訪問給食サービス事業	129,100	子ども医療費の助成	107,342	臨時福祉給付金給付事業	364,098
高齢者見守り対策事業	11,700	児童手当費	527,036	地域生活支援事業	23,408
		認定子ども園・保育園等の運営費	1,319,151	生活保護扶助費	600,000
		第3子出産祝金の支給	6,008		
		保育料の低減(市単独分)	188,000		



地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり					
品質の高い農作物生産、供給		安心・安全な畜産物の生産		森林の機能の維持管理と積極的な活用	
園芸振興事業	22,463	繁殖雌牛の導入保留助成	32,100	間伐等の促進への助成	18,198
茶振興事業	2,493	肥育素牛の導入保留助成	26,100	林道管理費	28,524
環境保全型農業推進事業	15,484	酪農振興事業	5,539	治山事業	11,648
青年就農給付金事業	18,000	高齢者等肉牛振興対策事業	11,600	森林・林業振興事業	8,400
農業後継者等育成対策事業	19,642	畜産競争力強化対策整備事業	412,072		
畑地灌漑等の県営事業負担金	395,417	畜産生産基盤施設整備事業	17,100		
市単独の農道改修工事	21,500	活動火山周辺地域防災営農対策事業	85,752		
市単独の土地改良補助金	2,450				
商工業の活性化に向けた環境整備		人でにぎわう観光拠点づくり		企業振興による地域経済の活性化	
商工会運営への助成	15,265	弥五郎どん祭り運営の助成	4,800	企業立地促進助成(雇用助成)	10,000
商工業後継者育成事業	13,842	弥五郎どん祭り前夜祭運営補助	900	企業立地促進助成(工場設置助成)	14,664
商工関連設備投資等利子補給	14,351	曾於市民祭運営への助成	9,000	雇用創出関連施設等整備補助金	5,000
思いやりふるさと寄附金推進事業	399,630	悠久の森ウォーキング大会	1,400	企業人材育成補助金	2,000
		夏祭り運営補助	3,000	地域雇用開発補助金	3,000



市民生活の土台を守るまちづくり

市民の財産の維持管理、さらなる利便化		住民が安全快適に暮らせる住宅の整備・維持管理		市民が一丸となった災害対策	
市道の維持費	194,884	住宅建設費	197,858	大隅曾於地区消防組合負担金	450,519
市道の整備	782,118	地域振興住宅建設事業	143,888	消防団活動費	170,035
排水路の整備	114,797	住宅改善工事	38,697	恒吉・岩南・財部北分団消防車輛購入	48,265
交通安全施設の整備	24,999	公園整備事業(グラウンドゴルフ場整備)	119,575	消火栓・防火水槽設置工事	33,345
				財部中央分団詰所建設工事	67,887
				危機管理監配置	3,000



個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

充実した教育環境の整備・子どもの身体づくりに資する給食提供		子どもたちがのびのびと学び、未来へと羽ばたく環境の整備			
高校振興事業	10,862	特別支援教育支援員配置事業	36,810	幼稚園就園奨励費補助金	16,221
ALT 語学指導事業	15,510	学力向上支援員配置事業	21,628	小学校施設等の改修	40,961
学校 ICT 活用支援・人材育成事業	2,990	適応指導教室指導員設置事業	5,113	中学校施設等の改修	9,958
そおっ子の学力向上プラン	9,704	学校給食センター管理費	154,474	パソコン・タブレットの設置	16,544
心の教室相談員設置事業	1,448	地産地消振興事業	2,822		



地域のつながり、生涯学習の活性化

スポーツを通じた市民の健康づくり支援

チャレンジ・ザ・日本一研修事業	906	図書館図書購入	10,000	スポーツ大会等の実施	12,891
青少年海外派遣研修事業	2,640	文化財整備事業	24,648	・カヌー大会	
青少年リーダー研修事業	1,130	埋蔵文化財発掘調査事業	15,491	・健康づくり駅伝大会	
イングリッシュキャンプ事業	1,075	自主文化事業	18,740	・北別府学野球フェスタ	
生涯学習推進費	13,179	吉井淳二記念展	3,000	・悠久の森ジョギング大会	
「曾於元気だそお」ふるさと事業	6,690				



●用語解説●

自主財源	市税をはじめ、使用料や手数料など市が自主的に収入するお金
依存財源	地方交付税や国・県支出金など国や県から交付されるお金
消費的経費	経費の支出効果が、当該年度又はきわめて短期間で終わるものに使われたお金
投資的経費	建物や道路等の建設に使われたお金
人件費	職員や市長、副市長、教育長の給与、市議会議員等の報酬として使われたお金
公債費	市債返済に使われたお金
扶助費	児童手当や生活保護、障がい者福祉、高齢者福祉等に使われたお金
普通建設事業費	建物や道路等の建設に使われたお金
物件費	委託料或使用料、光熱水費、消耗品費、臨時職員等の賃金、修繕費などに使われたお金
補助費等	消防組合や清掃組合等の運営、団体等への補助金、事業の普及や振興等の補助に使われたお金
繰出金	国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険、公共下水道事業等の特別会計へ支出したお金
積立金	各種事業を行うために貯金したお金

平成28年度

曾於市育英奨学生の募集！

奨学金の貸与を希望される方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※平成28年4月から、より借りやすい制度となり（新）と記載のある部分が新たに追加されました。

奨学生の資格

- 1 保護者が2年以上市内に住所を有し、今後も居住する見込みであること。
- 2 高等学校等、短期大学等または大学等に在学し、学校長の推薦があること。
- 3 学費の支払いが困難であること。
- 4 貸与の期間が2年以上であること。
修業期間が1年間の学校の場合はこの限りではない。（新）

対象となる学校

- 1 高等学校等
（高等学校、特別支援学校の高等部、修業年限3年以上の専修学校の高等課程）
- 2 短期大学等
（専修学校の専門課程、高等専門学校、短期大学、農業大学校）（新）
- 3 大学等（大学、大学院、上記に相当する外国の大学）（新）
※通信制または定時制課程のものを除く。

申請期間

平成28年4月11日（月）～平成28年5月20日（金）

貸与期間

- 1 貸与開始年度の4月から学校の正規の修業期間を終了するまで。
- 2 毎年度4月に更新。（対象者へ教育委員会から通知します）更新をしない場合は、継続した貸与ができなくなります。必ず更新手続きをしてください。

貸与回数

- 第1回 7月（4月～7月分・4カ月分）
第2回 8月（8月～11月分・4カ月分）
第3回 12月（12月～3月分・4カ月分）

返還方法

▽学校を卒業して7カ月後から貸与年数の2倍の期間内（最大10年以内）に、月賦、半年賦または年賦で返還すること。

平成29年度入学者より入学支度金の貸与も始まります。

詳しくは、お問い合わせください。

貸与の流れ

- 4・5月 貸与者申請期間
6月上旬 貸与者決定委員会
6月中旬 貸与決定者説明会
7月 支払い（第1回）
8月 支払い（第2回）
12月 支払い（第3回）
翌4月 在籍状況調査

貸与の金額

学校の種類	金額
高等学校等	月10,000円
短期大学等	月40,000円
大学等	

お問い合わせ先

曾於市教育委員会 総務課（市役所大隅支所3階） ☎ 099-482-5956
末吉分室（末吉中央公民館内） ☎ 0986-76-8814
財部分室（財部中央公民館内） ☎ 0986-72-0945

平成28年度 公共職業訓練 受講生募集(農業人材育成科)

訓練目標

圃場での野菜栽培やパソコンを使った生産・栽培管理、インターネット販売管理等について学び農業関連企業への就職を目指します。

内容

農業概論、農業基礎、土壌肥料実習、野菜栽培実習、病害虫駆除実習、コンピュータ基礎、Web制作実習、就職支援など

目標とする資格

日本農業技術検定 3級
コンピュータサービスマスター
評価試験 3級

応募資格

訓練を受けて関係職種へ就職を希望される方。

訓練期間

平成28年7月1日(金)～平成28年12月28日(水)まで
(6カ月間)
(毎週月～金 9時～15時30分
土、日、祝祭日は休日)

訓練施設

たからべ森の学校
(旧財部北中学校)

住所

曾於市財部町北俣5410-1

受託事業所

有限会社サイバーウエーブ
☎0986-28-6120

※公共交通機関での通学が難しいため、自動車もしくは、原付バイク等での通学が必要になります。

※駐車場は無料です。
※施設見学をご希望の方は、事前にお電話にてご連絡ください。

募集定員

15名

受講料等

受講料無料
※ただし、テキスト代、実習費用は個人負担となります。(1万3000円程度)

募集期間

平成28年5月9日(月)～6月10日(金)まで

入校選考

日程 平成28年6月21日(火)
時間 午前9時から

内容 筆記試験(国語・数学)・面接
会場 鹿児島県立鹿屋高等技術専門校

申込方法

管轄の公共職業安定所(ハローワーク)の窓口でお申込みください。

『心が元気になる相談室』のご案内

◎健康のこと、ご家族のことなど・・・お気軽にご相談ください!

開催日: **5月30日(月) 午後1時30分～** 場所: **末吉中央公民館**

カウンセラー: 勝吉恵美子先生(臨床心理士)

連絡先 (予約窓口)	担当課・係	電話番号
	本庁・介護福祉課 福祉係	0986-76-8807
	大隅支所・保健福祉課	099-482-5925
	財部支所・福祉課(福祉事務所)	0986-72-0936

3月の子牛せり市結果

曾於中央家畜市場(3/23～3/25)
※価格は税込です。

地区名	性別	頭数(頭)	最高額(円)	kg単価(円)	平均価格(円)
曾於市	雄				
	メス	227	1,353,240	2,758	769,279
	去勢	335	1,405,080	2,827	869,229
	計	562	1,405,080	2,802	828,858
曾於地区	雄				
	メス	581	1,353,240	2,702	753,773
	去勢	730	1,405,080	2,798	867,277
	計	1,311	1,405,080	3,037	816,975

5月の子牛せり市は、5/26～5/28の予定です。